



公益財団法人骨粗鬆症財団 主催

国際女性デー・女性の健康週間 公開講座

お母さんのやせは 次世代の 生活習慣病の リスクを高めます

LIVE配信
視聴無料



日本では2500g未満で生まれる赤ちゃんはおよそ10人に1人。赤ちゃんが小さく生まれることで遺伝子の働きを調節するメカニズムが変化して、将来、生活習慣病になりやすい体質がつけられることがわかってきました。財団小冊子の内容を掘り下げ、エビデンスと対策についてお伝えします。

●当日、チャットで講師に質問が出来ます●

※時間の制約上すべての質問にお答えできないかもしれません。

日時

令和5年 3月8日 (水)
15:00~15:45+質問タイム

内容

(予定)

“小さく産んで大きく育てる”ことの
危険性を知り
生活習慣病発症リスクの少ない社会へ！

- * DOHaD(ドーハッド)説
- * 小さく産まれると発症リスクの高くなる疾患
糖代謝異常・Ⅱ型糖尿病/認知機能
心臓循環器系疾患・腎臓疾患/骨粗鬆症 など
- * 出生体重低下の原因
妊娠前のやせ、妊娠中の栄養摂取不足
- * 出生後のケア

講師

福岡 秀興先生

福島県立医科大学
プログレッシブ
DOHaD研究講座
特任教授



1973年 東京大学医学部医学科卒。香川医科大学助手、米国ワシントン大学医学部薬理学教室リサーチアソシエート、ロックフェラー財団生殖生理特別研究生、1990年 東大大学院助教授(医学系研究科発達医学)、2007年 早稲田大学胎生期エビジェネティクス制御研究所教授 2014年 早稲田大学理工学術院理工学研究所研究員教授

視聴

無料/事前申し込み不要

Zoomウェビナーにアクセスしてください。

事前にも講師への質問を受け付けます。事前質問される方は匿名でなく記名で財団へメールください。

お問合せ

公益財団法人骨粗鬆症財団

東京都中央区日本橋大伝馬町2番14号 ☎03-5640-1841 info@jpof.or.jp
https://www.jpof.or.jp/

後援：厚生労働省 健康日本21推進全国連絡協議会
協賛：旭化成ファーマ株式会社、アステラス製薬株式会社



ウェビナーID：
810 3234 2369
パスワード：
355770